

東京ヒルズライオンズクラブ、被災地支援アクティビティ報告

平成23年8月12日

東京ヒルズライオンズクラブの認証状伝達式の記念アクティビティとして、2011年8月12日、宮城県南三陸町の南三陸志津川ライオンズクラブを通じて、現地へ車1台、子供用靴600足、子供用帽子220個を、寄贈させて頂きました。

車1台につきましては、阿久津第一副地区ガバナーを通じフルブライト日米教育委員会サターホワイト事務局長より、東京ヒルズライオンズクラブへ寄贈され、今回の運びになりました。

当日は、東京ヒルズライオンズクラブの橋本と芦澤幹事の他に、阿久津第一副地区ガバナー並びにサターホワイト様、PR情報委員会の梶原委員長も参加され、現地では南三陸志津川ライオンズクラブの小坂会長・工藤前会長や阿部ゾーンチャアパーソン等が出迎えてくれました。

東日本大震災から、ほぼ5ヶ月が経過し、瓦礫の撤去も大分進んでいるように見受けられますが、事業再開のメドがつくまでには至らず、まだまだ復興への道のりの厳しさを思い知らされました。

しかしながら、厳しい環境下でありながら、南三陸志津川ライオンズクラブの小坂会長はじめメンバーの方々の表情には、前向きな様子に満ち溢れ、東京ヒルズライオンズクラブとしても、微力ながら今後も継続して支援させて頂き、復興のお手伝いになればと改めて思った次第です。

その際、被災を受けた小学生で心臓が悪い子供がいるのでAEDの機器があれば、という要望が出ましたので、対応の検討をお約束いたしました。

また、その後、南三陸町の佐藤仁町長にお会いさせて頂きました。議会中であるにも関わらず、お時間を頂く事が出来、今後のご支援のお約束をさせて頂きました。佐藤町長より50年前にチリ津波の被災を受け、仙台ライオンズクラブが復興の協力をし、南三陸志津川ライオンズクラブを結成し佐藤町長は40代目会長で小坂会長は50代目とのお話をお聞きしました。

今回の訪問で、まだまだ各地で困られている方々がいて、やる事の多さに呆然としてしまっていますが、結局は、地道な活動を長期に渡って行っていく、ということが大事だと痛感させられました。

会長橋本隆夫